

第9回 関東防災連絡会 議事要旨

1. 日時

平成30年2月28日（水） 10:30から12:00

2. 場所

さいたま新都心合同庁舎2号館 5階大研修室5A

3. 議事次第

別紙 議事次第のとおり

4. 開会挨拶（会長：関東地方整備局長）

この「関東防災連絡会」は、平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、首都直下地震など広域的かつ大規模な災害に対し、防災関係の行政機関及び公共機関などが連携して災害対応を効果的に推進していくことを目指している。

また、設立以降、災害時の情報共有方法やその実行性を高めるための情報伝達訓練などに取り組んできたところであり、平成27年9月の関東・東北豪雨により鬼怒川が氾濫した際には、関東防災連絡会に参加している24の機関が非常体制に入り情報共有が図られた。

人口・資産の集中した関東地方では、その影響はとてつもなく大きなものになることが想定できる。このような状況の中、関係機関が一丸となって、事前・事後の両面から可能な限りの防災・減災対策を講じておく必要がある。

そのためには、企業、地方公共団体、国等が主体的に、かつ連携して対応していく必要があり、本連絡会を通じて様々な意見交換及び検討を行っていきたいと考えている。

引き続き本連絡会が、国民の生命及び財産を守り、また、社会経済活動を支えていくことに繋がっていくような、有意義なものとなることを願います。

5. 議題

以下の議題について、事務局から説明を行った。

(1) 平成29年度の取り組みについて

- 資料1により、関東防災連絡会の設立経緯や平成29年度に取り組んだ内容について説明。

(2) 平成29年度 首都直下地震防災訓練 情報共有訓練について

- 資料2により、関東防災連絡会として実施した情報共有訓練について説明。

(3) 平成30年度の取り組み方針について

- 資料3により、平成30年度に取り組む活動方針について説明。

(4) 平成 30 年度からの会長・副会長の選出について

- ・ 関東防災連絡会の運営要領に基づき、平成 30 年度からの会長、副会長の選出を行い、会長については、関東地方整備局長、また、副会長については、関東運輸局長がそれぞれ選出された。

6. 報告事項

- ・ 資料 4-1 に基づき、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の気象庁が発表する「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）が発表された場合の対応について、関東地方整備局より報告があった。また、東京都より、「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）に関する考え方について報告があった。
- ・ 資料 4-2 に基づき、信越本線における大雪による長時間駅間停車についての報告及び今後の対応について、東日本旅客鉄道株式会社よりあった。
- ・ 報告事項の参考資料の 4-3～8 については、担当者会議、幹事会で各機関から報告があったところでありこの場では、項目のみの紹介とさせていただき、内容については割愛させていただいた。

7. 閉会挨拶（副会長：関東運輸局長）

防災に携わる様々な機関がある中で、本会議のように平時より顔の見える関係を構築しておくことは大変重要である。

また、南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの大規模地震に限らず、異常気象による様々な災害に対応していくことが必要である。

これらを踏まえ、よりいっそう連携体制の強化を図っていけるよう、各機関のご協力をお願いしたい。

最後に、本会議の準備として、幹事会、担当者会議に携わった皆様に感謝申し上げ、閉会の挨拶とする。

以上